

令和2年度ホタテガイ採苗情報（第5報）

令和2年5月26日



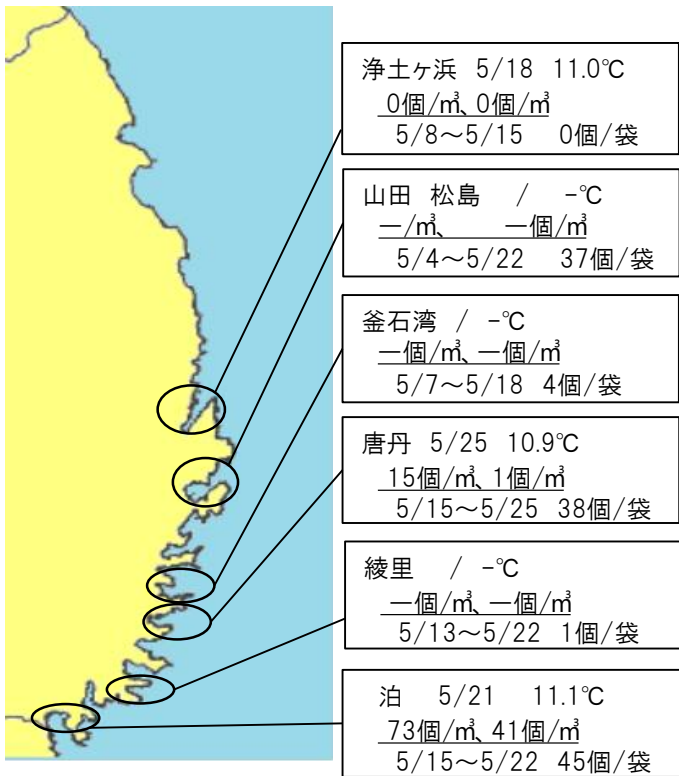
発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合

付着稚貝数は低調に推移しています。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は10.9℃で、透明度は12.0mでした。
 - 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが12個/m³、200μm以上の大型ラーバが1個/m³出現しました。
 - 唐丹湾の試験採苗器へは38個体（5/15～5/25）のホタテガイ稚貝が付着しており、うち18個体（47%）が付着直後の稚貝でした。
 - ※ 昨年同時期の唐丹湾定点における付着稚貝数は99個/袋/週
 - その他の地区におけるホタテガイ付着稚貝数も少ない状況です。
- < 宮城県の状況（5月19日発行ホタテガイ採苗通報（第5報）） >
- 小型～大型ラーバが確認されたが、大型ラーバはわずか。
 - 例年と比べラーバ及び付着稚貝数が少ない。
- < 噴火湾の状況（5月15日発行噴火湾環境情報No.1） >
- ホタテガイラーバは湾内に広く分布し、平均密度は前年同時期の10倍。



調査点	調査日	水深10m層水温	ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)	試験採苗器垂下期間	付着稚貝数
-----	-----	----------	---------------------------	-----------	-------

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、6月3日頃に
発行する予定です。

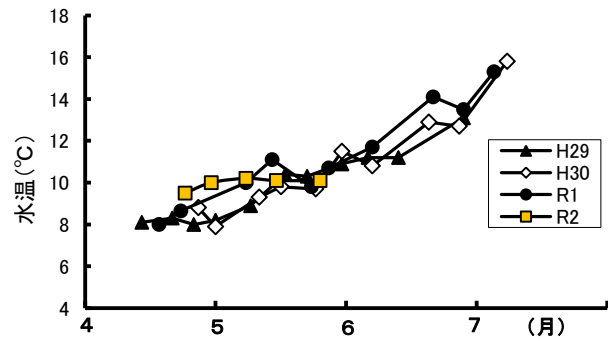


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

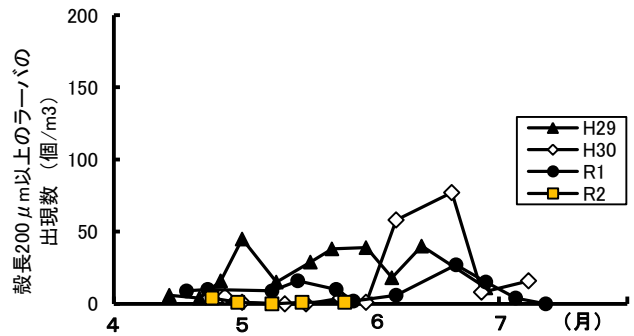


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

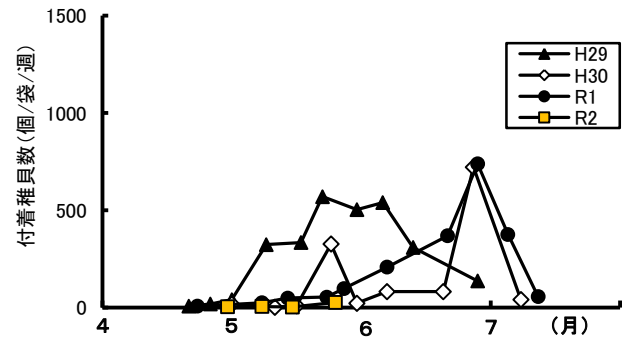


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ付着稚貝数